

評価シート 様式

取組名	「小田原ブランド元気プロジェクト」～技と匠による世界ブランドと小田笑手形で賑わいの創出～		
実施団体名	小田原市	対象地域	小田原市
(代表団体名)		推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「小田原ブランド元気プロジェクト」～技と匠による世界ブランドと小田原手形で賑わいの創出～		
実施団体名	小田原市	対象地域	小田原市
(代表団体名)		推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、地域のブランド化の展開という点で地域活性化に寄与するものと評価できる。今後は、対象事業の絞り込みを行った上で地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開に向けた継続的な取組を期待する。その際、どのような主体が中心となって次年度以降の取組の進行を管理し、継続させていくのか、改めて整理が必要と考える。また、新分野製品が地域活性化につながっていくよう、調査検証も行うべきであり、波及効果の見込める取組に絞って重点的に実施していくべきである。</p> <p>その上で、次年度以降については、事業の本格展開に向け、以下の視点を踏まえて実施すべきである。</p> <p>具体的には、取組①については、本年度に開設した特設サイトのコンテンツを拡充することにより、情報発信力が向上するものと判断される。取組②の「小田原どん」及び「小田原手形」については本年度の取組により成果が上がったと考えられることから、地方の元気再生事業による支援は、本年度並みの取組の範囲とし、これを超える部分については、地域独自の取組として行うべきである。また、体験ツアーについても、継続展開を見据えて、地域独自の取組として行うべきである。取組④「地域イベント」及び取組⑤「仕組みづくり」については、小田原ブランドを強く訴えられるものに内容を絞り込み、重点化して取り組むべきである。</p>